

■工事される方へのお願い

- この機器を正しく安全にご使用いただくために、この説明書をよくお読みになって指定された工事を行ってください。
- 条件を外れた設置が原因で生じた故障及び損傷は、保証期間内でも有料となります。
- 蓄電池対応ハイブリッドパワーコンディショナ（以下ハイブリッドパワコンと呼称します。）の接続はハイブリッドパワコンの取付工事説明書をご参照ください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

注意 作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

注意

- 表示ユニットの取り付けが完了するまで、ハイブリッドパワコン本体のブレーカ類は「切」にしてください。
- ネジ留めは指定トルクで締め付けてください。（締付トルクの指示がある場合）
※インパクトドライバー等は絶対に使用しないでください。締め付け過ぎると金具が変形し不具合が発生するおそれがあります。
- 表示ユニットは段差の無い壁面に取り付けてください。
※段差がある壁面に取り付けると取付金具が変形して、不具合が発生するおそれがあります。
- 音声スピーカが内蔵されている表示ユニットに、金属屑が付着すると音割れ等の原因になります。
表示ユニットに金属屑等が付着しないように、壁に取り付ける直前に袋から取り出してください。

お願い

- 壁に穴をあけるとき、大きくあけすぎると固定できなくなるので、注意する。
- 表示ユニット取付工事に必要のないネジは絶対に締めつけたり、ゆるめたりしない。
- 壁に貫通穴をあけるときは、壁内部にある柱・鉄筋の位置を確認して、取り付け位置を決める。
- パワコン-リモコン間ケーブルは、動かないようにステップルなどで固定する。
- パワコン-リモコン間ケーブルは直接熱の影響を受けないところに配線する。
- パワコン-リモコン間ケーブルをコンクリートなどに埋め込む場合には、電線管などにおさめ、パワコン-リモコン間ケーブルに傷がつかないようにする。
- メタルラス張りなどの壁を貫通する場合は、メタルラスと金属電線管が電氣的に接続しないようにする。
- パワコン-リモコン間ケーブルは、ハイブリッドパワコン本体のコネクタに接続する。
（ハイブリッドパワコンに付属の取付工事説明書参照）壁内配線の場合、予め壁面にケーブルを通しておく。
- 電気工事は電気設備技術基準や内線規定および労働安全衛生規則など関連法規に従って正しく安全に行う。
- パワコン-リモコン間ケーブルは、ノイズの影響を受けないよう電力ケーブルと極力離して配線する。
また余ったケーブルをパワコンの電力ケーブル近傍で束ねないようにする。
- 取付工事説明書に記載されていない施工（分解、改造など）は絶対に行わない。

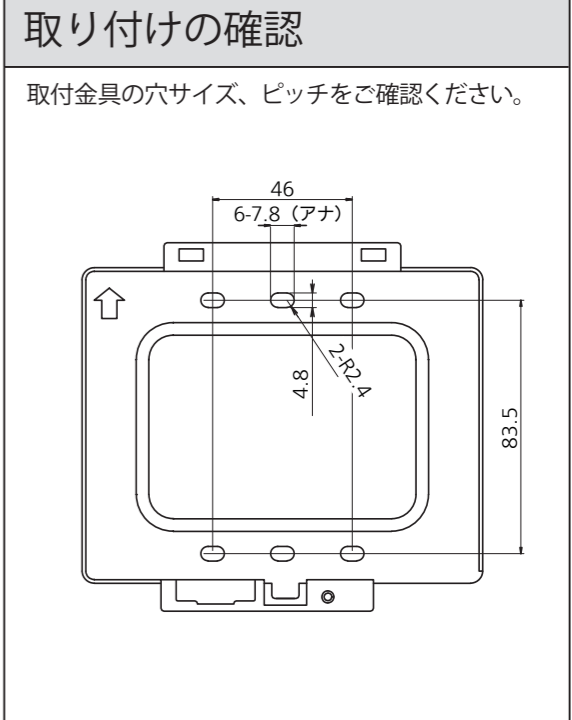
付属部品一覧 ()内は数量です。

表示ユニット (1)	取付金具 (1)	ケーブルクリップ (1)	インシュロックタイ (1)	M3.8 丸皿木ネジ (2)	M3 小ネジ (1)	M4 小ネジ (1)

ネジの記号は取り付け方法の説明と対応しています。

設置前の確認

- はじめに
 - 必ずハイブリッドパワコンの本体ブレーカ類を「切」にしてから行ってください。
 - 付属部品一覧を確認してください。
- 設置前のご注意
 - お客様と相談して使いやすい場所を選んでください。
 - 下記の場所には取り付けしないでください。
 - 温度の高くなる場所（ガスコンロの付近など）
 - 直射日光のあたるところ（窓際など）
 - 湯気のかかるところ（ガスコンロ、炊飯器の付近など）
 - 水しぶきのかかるところ（給湯栓の付近など）
 - 油のかかるところ（ガスコンロの付近など）
 - 特殊薬品を使用する場所（ベンジン、油脂系の洗剤など）
 - 粉塵のかかるところ
 - 湿度が高い場所（浴室近くなど）
 - 熱源から熱を直接受ける場所（ストーブなど）
 - 冷気が直接あたる場所（エアコン近傍など）
 - 振動・衝撃の加わる場所
- パワコン-リモコン間ケーブルの確認
 - 当社指定のものを使用してください。種類はつぎのものが有ります。
 - 現場の条件により必要な長さのものを使用してください。（オプション品：別売。型名：ZC-RS**B
**には長さ指定の数字が入ります：10m, 15m, 30m, 50m）



取り付け方法

① 取付金具を壁に固定します。
（表示ユニットががたつかない程度に締め付けてください）
（取付金具の矢印が、上向きで左側にくるのが正しい向きです）

※インパクトドライバー等は絶対に使用しないでください。締め付け過ぎると金具が変形し不具合が発生するおそれがあります。

〈木質壁面への固定の場合〉
付属のM3.8 丸皿木ネジ★を使用して取付金具を固定します。（図1）

〈スイッチボックスへの固定の場合〉
スイッチボックス指定のネジをご用意いただき、取付金具をスイッチボックスに固定します。（図2）

〈コンクリート壁面への固定の場合〉
オールプラグをご用意いただき、取付金具の固定用穴を開け、オールプラグを打ちこみます。
次に、丸皿木ネジをご用意いただき、取付金具を固定します。（図3）

② 表示ユニットを袋から取り出し、本体から化粧枠を外します。
（化粧枠は、はめ込み式になっています）（図4）

※表示ユニットの下部側を上にして行ってください。
保護フィルムをはがしてから行ってください。
※表示ユニットは本体内部に粉塵などが入らないようにご注意いただくため、壁に取り付ける直前に袋から取り出すようにしてください。

図1 M3.8 丸皿木ネジ★
取付金具 (上下、裏表に注意してください)

図2 スイッチボックス
取付金具
丸皿小ネジ

図3 オールプラグ
丸皿木ネジ
取付金具

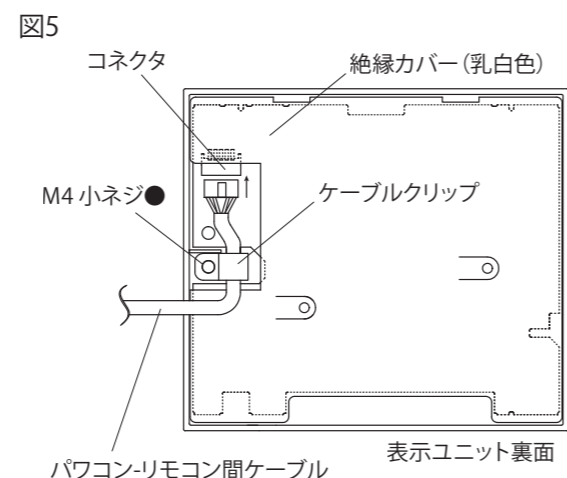
図4 ここを押しながら化粧枠を手前に引く
表示ユニット本体
化粧枠
こちらが下部側

- ③ 表示ユニット裏面のコネクタに
パワコン-リモコン間ケーブルを接続します。
ケーブルにケーブルクリップを取り付けて、
M4小ネジ●で表示ユニット本体に取り付けて
ください。

(図5) {締付トルク：1.4~1.6N・m}

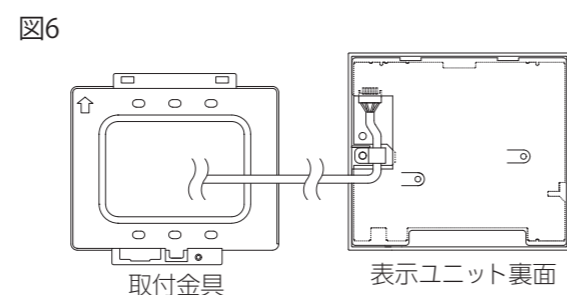
※絶縁カバー（乳白色）は取り外さないでください。

- インパクトドライバー等は絶対に使用しないでください。
ネジ端子を破損するおそれがあります。



〈壁内配線の場合〉

図6を参照してください。

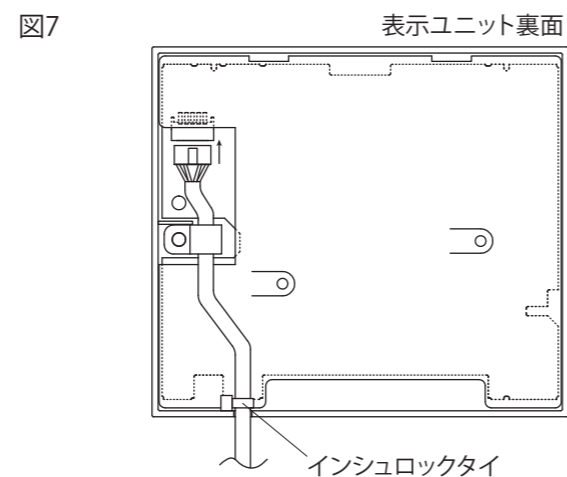


〈露出配線の場合〉

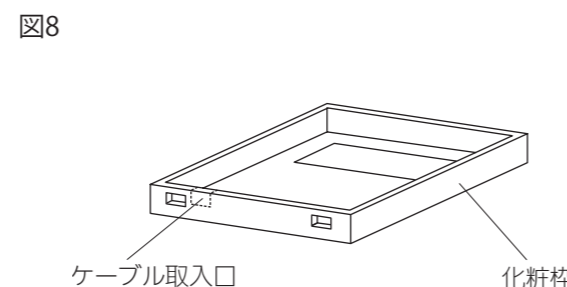
図7を参照してください。

表示ユニット本体の下部側からケーブルを外部に出して
ください。

引っ張りによるコネクタ抜け防止のために、ケーブルの
表示ユニット本体から外部に出る直前の箇所に
インシュロックタイを取り付けてください。
(仮止めしてからケーブルの長さには少し余裕を持たせて
調整してから取り付けてください)

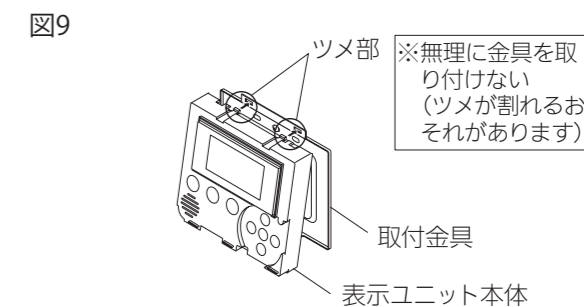


※露出配線の場合、先に化粧枠のコード取入口を、
ラジオペンチ、ニッパーなどで開けてください。
(図8)



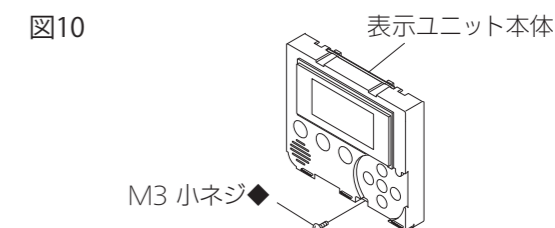
- ④ 表示ユニット本体を取付金具に固定します。(図9)
取付金具のツメ穴(上2か所)に表示ユニット本体
上部のツメ2か所を引っ掛け、表示ユニット下部の
ハメコミ部を「カチッ」と音がするまで押し込みます。

※金具が取り付けにくいときは、無理に金具を取り付け
ないでください。(ツメが割れるおそれがあります)
取り付けにくいときは再度金具を取り外して、
取り付けてください。



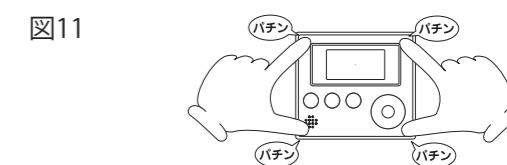
- ⑤ 下部穴に M3 小ネジ◆を取り付けて、
表示ユニット本体と取付金具を固定してください。
(図10)

{締付トルク：0.9~1.1N・m}



- ⑥ 化粧枠の四隅の角を奥までパチンと音がするまで
強く押し込みます。(図11)

※取り付けが悪いとスイッチの入りが悪くなる等の
不具合につながります。



〈注意〉

表示ユニット・化粧枠取り付け後に再び化粧枠を
取り外す場合は、図の部分を押しながら化粧枠を
手前に引いて外してください。(図12)

※外れにくい場合は、化粧枠下部にある切り欠き部に
マイナスドライバーを入れて、斜面を押し外して
ください。(その際、表示ユニット・化粧枠・壁面を
傷つけないように十分注意してください)



工事後の確認

- 表示ユニットが確実に固定されているか確認してください。
- ハイブリッドパワコン本体のプレーカ類を「入」にしてください。
表示ユニットの動作を確認します。
[ホーム/メニュー]ボタンを押して、操作に反応することを確認してください。
- ハイブリッドパワコンの動作設定は、表示ユニットではなくスマート
フォンもしくはタブレットから行います。本体の取付工事説明書をご参照ください。

本紙および同梱の取付工事説明書・取扱説明書の内容は、製品の仕様変更などで予告なく変更される場合があります。
最新版は当社ホームページからご覧になります。

当社カタログダウンロードページ <https://www.enetelus.jp/download.html>



ダイヤゼブラ電機株式会社

〒532-0026 大阪市淀川区塚本1丁目15番27号